

特集

介護保険制度はどうしてできたの？

介護保険制度は、高齢者の増加、高齢者を支えてきた家族をめぐる状況の変化に対応するため、高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みとして、今から20年前の平成12年に始まったのよ。

どのような仕組みなの？

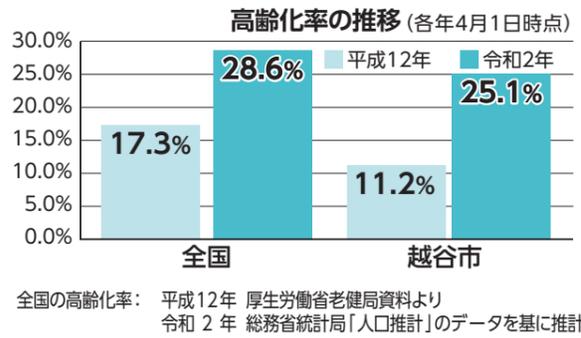
越谷市は保険者として、制度の運営、例えば介護保険サービスに必要な費用の9割分～7割分の支払いや、保険料の納付に関することなどを行っているわ。

市民の皆さんは、40歳になると被保険者として介護保険に加入し、毎年保険料を納める仕組みなの。サービスを利用したときは、費用の1割分～3割分を負担するのよ。なお、サービスを利用できる人は、65歳以上で日常生活に支援が必要な方、または40歳以上65歳未満の方で特定疾病(国が認める16種類の疾病)により支援が必要な方で、いずれも市の認定を受けた方になるわ。

高齢者の増加と言うけど、どれくらい増えたの？

このグラフは、全国と越谷市の高齢化率(人口に対する65歳以上の割合)を示しているの。

グラフからも分かるとおり、今は人口の4人に1人が高齢者という状況なの。越谷市の高齢化率は、全国と比較すると下回っているけれど、伸び率は**13.9ポイント**と、全国の伸び率**11.3ポイント**を上回っていて、今後、さらに伸びていくものと見込まれているわ。



介護保険を利用している人も増えているの？

越谷市の介護保険の認定者数は、平成12年度末の時点で、**2,622人**だったけれど、令和元年度末の時点では**13,033人**となって、20年で約5倍に増加したわ。これは、全国と比較しても高い伸び率で推移しているのよ。

利用する人が増えたなら介護職が足りないのでは？

介護に携わる職員数は、高齢者人口、認定者数の伸びに比例して伸びていて、平成12年当時は全国で約**55万人**だったけれど、平成28年には、約3.3倍の**183万人**にまで増えているのよ。

けれど、いわゆる団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる令和7年(2025年)には、医療や介護需要のさらなる増加が見込まれるし、団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22年(2040年)には、高齢者人口がピークを迎えるとともに、介護ニーズの高い85歳以上の人口が急速に増加する見込みだから、介護人材の確保・育成は重要な課題となっているのよ。

次のページから介護の仕事を紹介するわね

特集

キラリ!

介護職

思っていたのと違う! 介護職って○○○!

皆さんは介護保険のサービスの内容や、介護の職場で働く人のことをどのくらいご存じでしょうか。介護の職場は大変ですが、それ以上にとってもやりがいがある職場です。今号では、現場で働く介護職の体験をもとに、仕事の内容や魅力を紹介します。タイトルの「介護職って○○○!」には、読後の皆さんの感想を当てはめてみてください。

〈問合せ〉介護保険課(第二庁舎1階) ☎963319305

**A子**「おじいちゃん、お母さんから差し入れたよ」  
**B蔵**「ありがとう。A子、よく来たね。学校の勉強も忙しいのがあるがとうな。今日はヘルパーのM山さんが来てくれてるよ」



**M山**「こんにちは。差し入れ、お夕飯の時に出来るようにしておきますね」  
**A子**「こんにちは。そういうえ」

「ば、M山さんはおじいちゃんの食事の準備もしてくれてるんですよ。お世話になってます」  
**B蔵**「市役所へ最初に介護の相談に行った時はどうなるかと不安に思ったけど、介護保険でいろいろなサービスが受けられるようになってから安心して生活ができています」



**B蔵**「てれるなあ。でも住み慣れた地域で生活したいって思っているからね。そのためにかくさんの人が協力してくれるし、自分もできるかぎり頑張ろうって思えるんだよ」  
**A子**「なんか、M山さんもおじいちゃんもキラキラしててかっこいいかも。正直、M山さんには申し訳ないんですけど」



**M山**「B蔵さん、自分でできることは頑張っているのでも楽しんでお手伝いできていますよ。デイサービスでのことも楽しんで話してくるので、私も張り合います!」

「ど、介護の仕事って」とにかく大変! ってイメージが強く、あまり魅力を感じていなかったんです。でも、二人を見てたらそうじゃないのかも、って思えてきました。介護の仕事も進路に考えるってありかな」  
**B蔵**「そういえば進路で悩んでいる、って言うっていたな」  
**A子**「うん。そもそも介護保険のことも制度のこともよく分らないんだけどね」  
**M山**「それならこれを読んでみて! ちょうど他の業種で働く仲間たちのインタビューが載っているの。きつと参考になるわ」

**さ**「で、こんな会話が市内のどこかであったかは定かではありませんが、皆さんは介護の仕事にどのようなイメージをお持ちでしょうか。職員が不足している大変、体力的・経済的に厳しいなど、耳にしたことがあるかもしれません。果たして実際どうなのでしょう。A子さんも言っているように、その前に、」

「たように、「介護保険ってなに?」「どんな制度なの?」と思う方も多いのではないのでしょうか。まずは介護保険について、皆さんからの質問にお答えしますね。」



**A子**「わあ! ありがとうございます! さっそく読んでみます!」

キク姉さん

特集

「今、介護の現場がアツイです」  
あなたも働いてみませんか!!



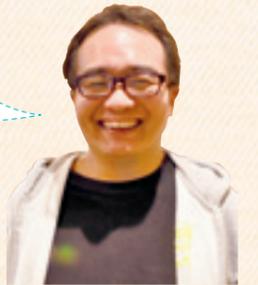
越谷市介護保険サービス事業者連絡協議会  
サービス事業者連絡協議会会長  
ほんま ともかず 本間 朝一さん

越谷市介護保険サービス事業者連絡協議会は、越谷市の介護保険事業の円滑な運営と、質の高い介護サービスの提供に資するために、平成15年4月1日に発足した介護事業者の団体です。現在、喫緊の課題である人材の確保に力を入れて活動しています。

今回、その一環として、介護の仕事の魅力を発信できればと思っています。介護には、たくさんの方の業種があり、業種によって働き方に違いがあります。ライフスタイルに合わせて働くことも可能です。また、資格にも違いがありますが、もちろん資格がなくても働くことが出来ます。働きながら資格を取得し、上級資格を目指す事も可能です。介護の現場は「利用者さまの笑顔」を見ることができ、「ありがとう」の言葉が直接聞ける、やりがいのある職場です。これから登場します、実際に働いているスタッフの皆さんの生の声をご覧いただき、一人でも多くの方が、介護の仕事に興味を持っていただければ幸いです。

介護の現場で働く仲間たちに聞いてみました!

私は  
**地域密着型  
特別養護  
老人ホーム**  
で働いています!  
介護職員  
つちや 土谷さん(30代)



異業種から介護職にチャレンジしました。

福祉系の大学を卒業していましたが、人見知りの性格もあって、接客業のような仕事は自分には出来ないと思い、初めて就職する際には介護の仕事は正直全く考えられませんでした。

転職を考え始めて、おばあちゃんが大好きだったことや友人からの後押しもあり、12年勤めた会社を辞めて、資格も経験もない全く違う業種である介護職で一旦から頑張ってみようと思えました。



毎日笑って楽しく仕事をしています

当初は、今までと全く違う業種で全然仕事じゃ覚えられず、「自分には向いてないかな」とか「周りの友達に迷惑かけてばかりで申し訳ない」という考えばかり出てきて、仕事に行くのが辛かったのを覚えています(笑)。そんな中でも、周りのスタッフの皆さんがものすごく丁寧に教えてくれたので、徐々に仕事に慣れていくことができました。段々と入居者さまとのコミュニケーションも取れるようになり、皆さんの気持ちを考えて支援が出来るようになっていきました。

初めて身内以外の方のお看取りの経験をした直後は、とにかく悲しい気持ちで、精神的にきつかったのを覚えています。ただ、そのあとに施設長をはじめ、スタッフの皆さんとの方についてお話しする機会がありました。そのとき教えていただいた「入居者さまが亡くなるときに、この施設で最期を迎えられて良かったと思えるように毎日仕事をしたい」という言葉で、「あの方はそう思えたかな?」と改めて自分自身の仕事を思い返し、そう思ってもらえるように毎日頑張っています。入居された方が最期の時間を過ごす最高の場所と思えるような仕事をしていきたいです。今後は実務者研修や介護福祉士の資格も取得してスキルアップしていきたいです。

私は  
**介護老人保健施設**  
で働いています!

介護職員  
えのび 栄野比さん(30代)



介護老人保健施設は、「リハビリを行うこと」「在宅復帰と在宅生活の支援を行うこと」が大きな役割とされています。

病院での治療やリハビリを終えて自宅に帰る予定でも、まだ少し不安に思う方や住宅改修の準備を行いたいと考えている方が多く利用されています。また、医師や看護師が常勤していますので、継続的に医療を必要とされている方にも、利用しやすい環境となっています。

介護老人保健施設では、たくさんの方の職種が協力して



歩行練習中にほっと一息

入所者さまのサポートを行っています。その中でも介護福祉士は、食事・排せつ・入浴等において自立に向けた支援や介助を行い、ほかの職種と連携しながら入所者さまの日常生活動作能力の向上を図り、自宅における生活を実現していただく非常にやりがいのある仕事です。

リハビリがメインの施設ですので、リハビリ専門職からの指導で、フロア内での歩行練習や日常生活動作の練習も行っています。その際の入所者さまの「笑顔」や「いつもありがとうございます」という感謝の言葉が何よりも私たちの力となり、日々の仕事の励みとなっています。

私は  
**特別養護  
老人ホーム**  
で働いています!

介護職員  
しろい 白井さん(20代)



昨年、現在の施設に入職しました。一度は福祉を離

れましたが、離れた先の仕事場では人との関わりがほとんど無く、一日中会話をすることのない日もありました。そんな中で、人とのふれあい、高齢者の皆さんの笑顔が懐かしくなり、「やはり福祉の分野で社会に貢献したい」と思いついてきました。

入居者の皆さんの目線に立つて考え、少しでも笑顔を増やせる介護を目指して頑張っています。入居者さ



スタッフ同士も仲が良く、明るい活気ある職場です

なら利用者さまが、さまざまなことに参加するとき、いつも仲良くお互い助け合っているからです。「小規模多機能」とは、「通所」「訪問」「宿泊」の3つのサービスを組み合わせることができるサービスです。新しい環境になじむことが苦手であったり、環境の変化に敏感な方にとって、顔なじみのスタッフからサービスを受けることができるので、安心いただけ

るものと考えています。私も、毎日を元気に楽しく過ごしていってほしいユーザーさまを見て、たくさんエネルギーをいただいていることに励んでいます。

私は  
**小規模多機能  
事業所**  
で働いています!

介護職員  
ごみ 五味さん(40代)



私の職場は、いつも笑い声であふれています。なぜ

「お昼は何が食べたいですか?」



「お昼は何が食べたいですか?」

特集

私は  
**居宅介護  
支援事業所**  
で働いています!

介護職員  
ほりきり  
堀切さん(40代)

居宅介護支援事業所には、ケアマネジャー(介護支援専門員)が在籍し、介護サービスに関する相談や自宅生活における介護のお悩み相談など、さまざまな相談支援を行います。主な業務としては、要介護認定申請などの申請代行、アセスメント(生活課題の抽出)、ケアプランの作成、サービス事業所の選定支援、担当者会議の開催、モニタリング、入退院時連携などがあります。



利用者さま「デイサービスに行けるようになりました」

認ができていないか、重要な書類の提出忘れがないかなど、同居家族がいらないことやご本人の様子によって、一人一人関わり方も変わってきます。ご本人の様子から、どのように対応していくのかを考えていくことがケアマネジャーのおもしろさかなと思います。

また、生活課題に対して、さまざまなサービス事業所がどのように連携して取り組んでいくのかをみんなで考える担当者会議は、「チーム」としての一体感があり、すごく仕事に充実感を感じます。

利用者さまから「一人暮らしをしていて急に

私は  
**特別養護  
老人ホーム**  
で働いています!

介護職員  
あらい  
新井さん(30代)



自営業の農家で米づくりをしていましたが、ローカルミュージシャンとして活動をしており、アーティスト活動をやるにあたってシフト制だと予定を組みやすいと思ったこと、大学卒業後に取得したヘルパー2級の資格を生かした社会貢献をしたいと思って転職しました。

介護の仕事は3K(きつい・汚い・危険)と言われていましたが、自分は特に抵抗を感じることなく始められました。最初はパートからスタートして、契約社員を経て、今は正職員で



アーティスト活動と両立しながら働いています

す。現在は、配属ユニットで食事、入浴、排せつなど日常の介護をしています。入居者さまに寄り添うことはもちろん、同僚のケアワーカーのことも考えて、助け合っていると思っています。

「ありがとう」が日々の糧  
たとえ精神的に辛いことがあっても、入居者さまからの「ありがとう」の一言をいただくとこの仕事を続けてよかつたと思えます。これからも、介護福祉士の資格を取得してもっと入居者さま、同僚の皆さんのことを考えて仕事に従事していきたいです。また、入居者さまを楽しませるためにレクリエーションなど



私は  
**訪問入浴介護  
事業所**  
で働いています!

介護職員  
すずき  
鈴木さん(30代)

訪問入浴とは、看護職員1人、介護職員2人の計3人のスタッフが利用者さまの自宅に訪問し、専用の浴槽を使用し入浴のサポートをする介護サービスです。

動けなくなると不安でいっぱいだったけど、ケアマネさん、看護師さんやリハビリの先生、ヘルパーさんが来てくれて、少しずつ安心して生活できるようになってきました」という言葉をいただきましたときはうれしかったです。

入浴は身体を清潔に保ち、かゆみや床ずれの改善や予防につながります。また、血行が良くなり発汗することで心地よい疲労感に包まれ、自然な睡眠を促す効果も期待できます。身体や気分がほぐれリラックスできるため、ご家族との会話を楽しむ精神的なゆとりも生まれます。

訪問入浴サービスは、ご本人の自力での入浴が困難、またはご家族のサポートだけでは入浴が難しいといった場合に入浴のお手伝いをするサービスです。この仕事のやりがいは、利用者さまから直接感謝の言葉をいただけることです。



\*写真は、訪問入浴サービスの準備をイメージしたもので、実際に利用者さまへ訪問する際は、感染症対策を講じています



私は  
**福祉用具  
貸与事業所**  
で働いています!

福祉用具専門相談員  
あらい  
荒井さん(20代)

自分のアーティスト活動の力も活用できたと思います。

福祉用具専門相談員の仕事は、福祉用具を必要としている方に商品を「相談」↓「選定」↓「納品」↓「説明」↓「評価」↓「モニタリング」する専門職です。

福祉用具専門相談員になるには、介護福祉士や社会福祉士などの国家資格を取得しているか、『福祉用具専門相談員指定講習』を50



皆さんの喜び顔を思い浮かべながら福祉用具を届けています

とでさらに興味も持つようになって、毎日新鮮な気持ちで仕事に励んでいます。利用者の皆さんに、より良い住環境の提案ができるよう、研さん

日常の業務は、利用者の皆さんの身体状況と住環境を適合して福祉用具を導入、生活の質を取り戻すサポートを行っています。私は学生の時に福祉住環境について学んできました。基礎知識はありましたが、現場で生の声を聴くこ



福祉用具の一例



いろいろな介護の現場で、年齢も職歴も関係なく、みんなとつてもいきいきと働いているのね!

次のページでは、仕事の流れがイメージできるように話をしてくれた仲間を紹介するわね。



特集



みんな、とっても輝いていたね！  
ほかにはどんな介護の仕事があるの？



市内には、ほかにもいろいろな  
サービス事業所があるのよ！

サービスの種類	サービスの概要
訪問介護	ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の援助を行います。
訪問リハビリテーション	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が居宅を訪問し、心身機能の維持回復や自立に向けたリハビリを行います。
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	看護職員または介護職員が定期的な巡回訪問や随時通報への対応を 24 時間、365 日提供します。
通所介護 (デイサービス)	送迎車にて施設に通い、入浴、排せつ、食事等の日常生活上の援助や機能訓練を行います (定員 19 人以上)。
通所リハビリテーション (デイケア)	介護老人保健施設や病院、診療所などの施設に通い、医師の指示のもとで、理学療法、作業療法その他必要なリハビリを行います。
地域密着型通所介護	定員 18 人以下の通所介護です。
短期入所生活介護 (ショートステイ)	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) などに短期間入所し、その施設において、入浴、排せつ、食事等の日常生活上の援助や機能訓練を行います。
短期入所療養介護 (医療型ショートステイ)	医療機関や介護老人保健施設等に短期入所し、その施設で看護、医学的管理のもとにおける介護および機能訓練その他必要な医療、日常生活上の援助を行います。
特定施設入居者生活介護	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで、入浴、排せつ、食事等の日常生活上の援助や機能訓練を介護保険にて行います。
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	認知症高齢者が共同生活する住宅で、スタッフの介護を受けながら、入浴、排せつ、食事等の日常生活上の援助や機能訓練を行います。
特定福祉用具販売	居宅での入浴や排せつなどに用いる福祉用具であって、貸与になじまないものを販売します。

(令和2年12月1日現在)



「キラリ！ 介護職」いかがでしたか？  
このほかにも、介護職を紹介するための仕組みとして、越谷市介護保険サービス事業者連絡協議会と市が協働で「介護フェスタ」を開催しているの。  
今年度は、残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になってしまったけれど、次回開催 (来年度以降) するときは、広報こしがやお知らせ版などでお知らせするわね。



「もっと介護保険のことを知りたくなったな…」 そんな時は

あんしん介護保険の冊子をお配りしています

市では、介護保険制度をわかりやすく解説した「あんしん介護保険 令和2年度版」を配布しています。初めて介護保険を利用される方、介護について不安がある方、介護保険についてもっとよく知りたい方など、ぜひご利用ください。

**配布場所** 介護保険課 (第二庁舎1階)、各地区センター、各老人福祉センター、各地域包括支援センター、北部・南部出張所など

あんしん介護保険は、市ホームページ(右記の二次元コード)からもご覧いただけます。

〈問合せ〉 介護保険課 ☎ 963 - 9305



認知症対応型デイサービス

私が感じるやりがいは、利用者の皆さんが今まで普通に出来ていたのに認知症の症状により出来なくなってしまうことが、私たちの支援で出来るようになることです。家で家事などをやらなれない人でも、施設に来たときは周りの人と一緒に参加するようになること、この仕事にとってもやりがいを感じます。

ただ、気を付けなくてはならないことは、利用者さまが「出来ること」を「頑張りすぎない」ように接することです。頑張りすぎてしまうと今まで出来ていたことが出来なくなってしまう可能性があります。そのあたりをしっかりと見極めながらサービスを提供することが、在宅生活を継続するために大切なことだと考えています。

1日の流れ



なかね 中根さん (20代)

訪問看護

看護師歴は長いのですが、訪問看護は初心者の方内です。一年前は保育所の看護師でした。子どもたちはとてもかわいかったのですが、看護師として「ゆつくりと患者さまに向き合う看護をしたい」と思い、訪問看護ステーションへ入職しました。訪問看護は、体のケアや医療処置、意思決定支援などの看護を提供します。最近では新型コロナウイルス感染症の影響で病院では面会制限があるため、家で最後まで過ごしたいと言う方も増えているようです。『自分らしく生きる』をモットーに、在宅で安心して過ごしていただけるよう支援していきたいです。

落ち込んだときは利用者さまの笑顔に、困ったときは職場の仲間を支えられ頑張ってます！

体調はいかがですか？

パチパチパチ



たけうち 竹内さん (40代)

ゆっくりと座りましょうね

足元に気をつけて…さあ、いきましょ！



熱や血圧などを測定し、胸やおなかの音を聴いて体調を確認します。「夜はよく眠れましたか？」

〇〇さん、この前は苦しくなかったかな？ 今日はいつものケアで大丈夫かな？

こんにちは！訪問看護です！



ある日の3件目の訪問